



売れっ子

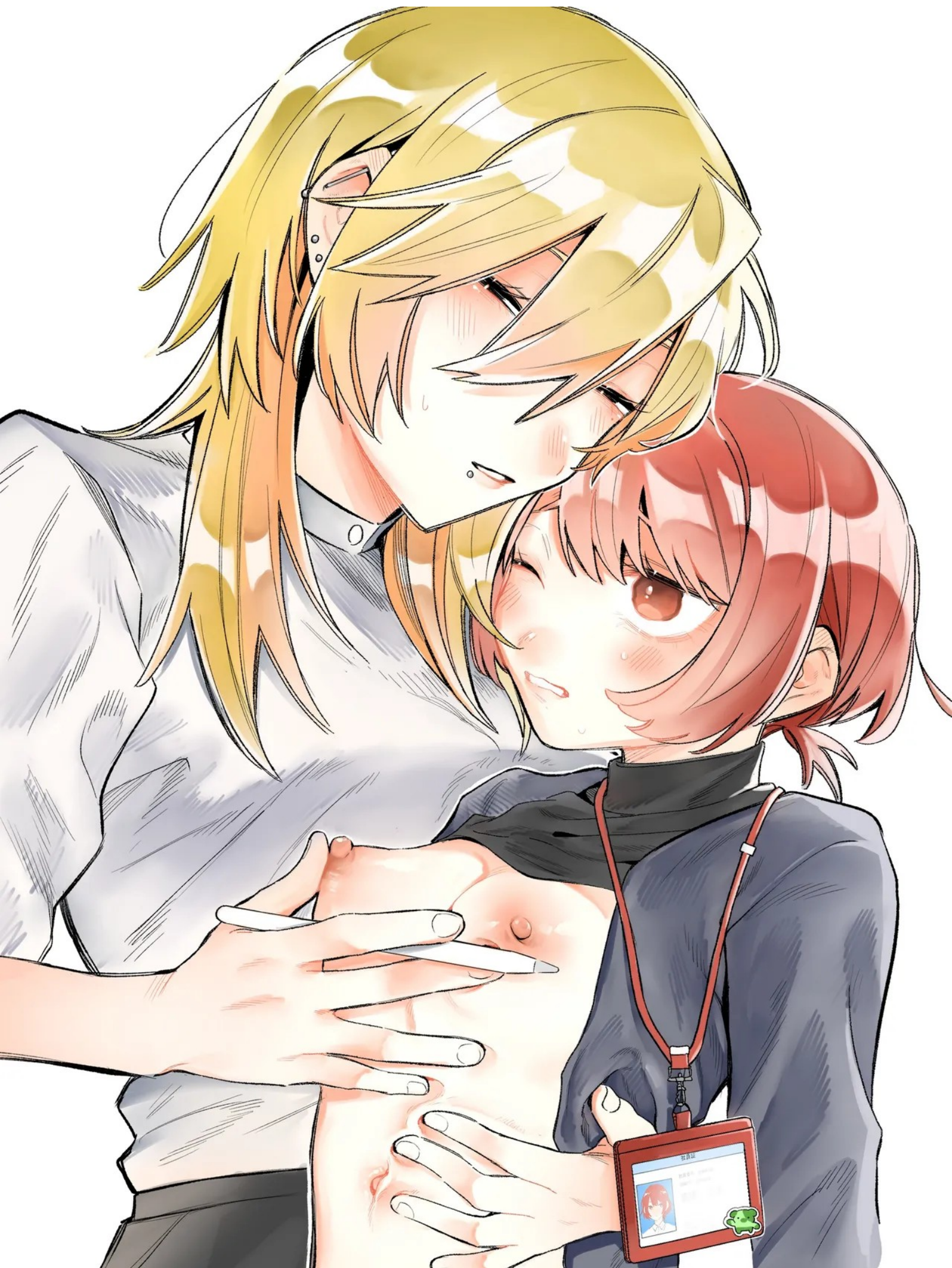
漫画家さんとお嬢さん

シゴテキ

adult
R18
only



本文
31P



売れっ子漫画家さんとシゴデキ編集さん



感慨深い
です

どうですか
久しぶりの
学び舎は？



わかりました



時間になったら
お呼びしますので

待っていて
くださいね

三上^{みかみ}紙^{かみ}先生^{せんせい}
(28)
売れっ子百合漫画家



三上先生でも
緊張するん
ですね

でも実は
私もなんですよ
一緒ですね

おどろこ
し

!!!

…の担当編集(29)



けどちよっと
緊張しますね

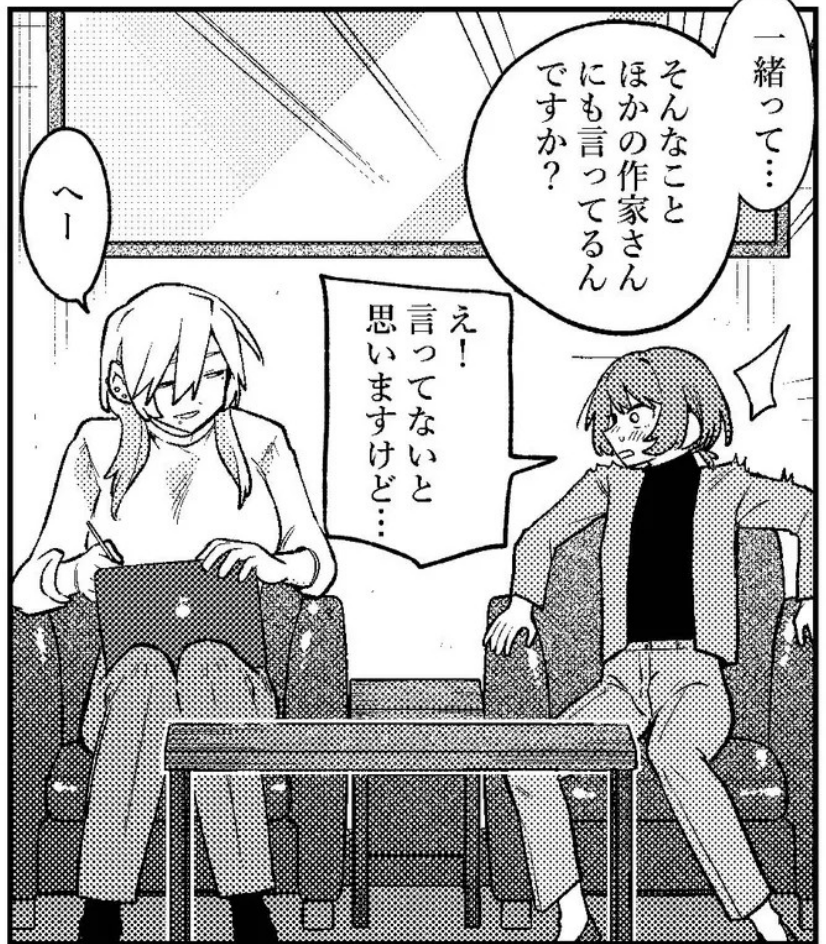


—今日は私の
担当作家である
三上先生と

アニメ化決定の
記念講演のため
先生の母校に
来ている



じゃあ
私は特別
なんですネ



一緒に……
そんなこと
ほかの作家さん
にも言ってるん
ですか？

え！
言っていないと
思いますけど……

へー



確かに
そうですけど

ほ……ほかの
作家さんも同様に
特別ですからね！



えー
そうなん
ですか
残念♪

残念って……

——三上先生は
時々こうして

思わせぶりな
ことを
言ってくる
ときがある



それが
本気なのか
冗談なのかは
わからないけど
正直悪い気は
しない……

——だって

もう、好きだし。

編集さん
今日疲れて
ますか？

今日のお食事は
早めに終わら
せて休んでくだ
さいね

すみません
顔に出
ましたよね…

気を付けます！

※惚れるに
至る数々の
出来事たち

なんか安心する
っていうか…

編集さんの前だと
何でも言っちゃ
うんですよね

…なんて
私酔ってますね

編集さん
お誕生日
おめでとう
ございます

これ
プレゼント
です

ありがとうございます！

ありがとうございます！

編集さん
おはよう
ございます…

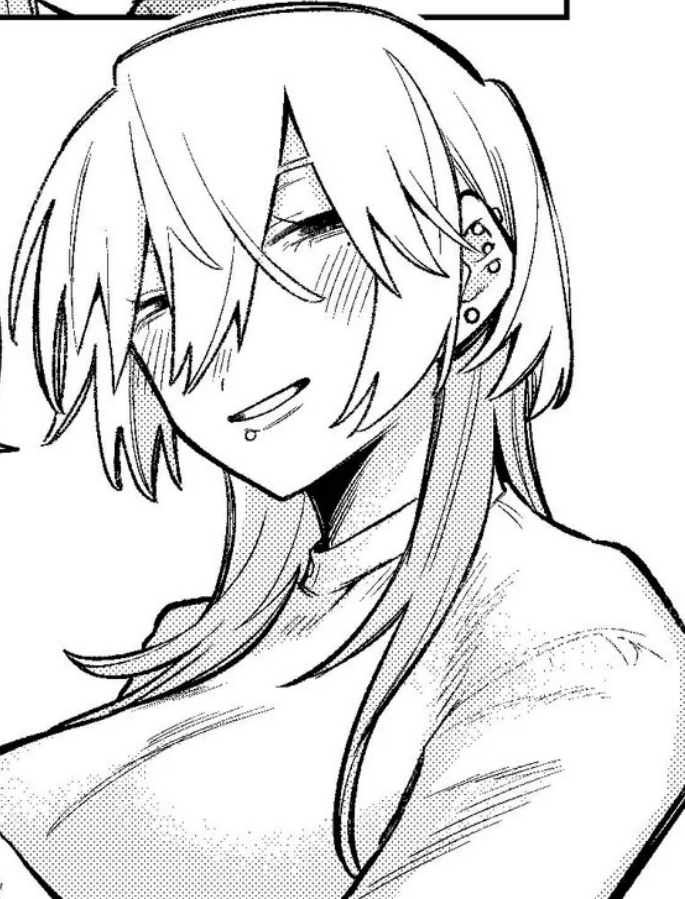
寝起きの声
可愛い…
ギャップ!!

公私混同
絶対!

…と言っても
編集だから
そんなこと
言えるわけ
ないんだけど

しっかし
顔良いなあ…

そんな
見られると
照れますよ



編集さんの
えっち

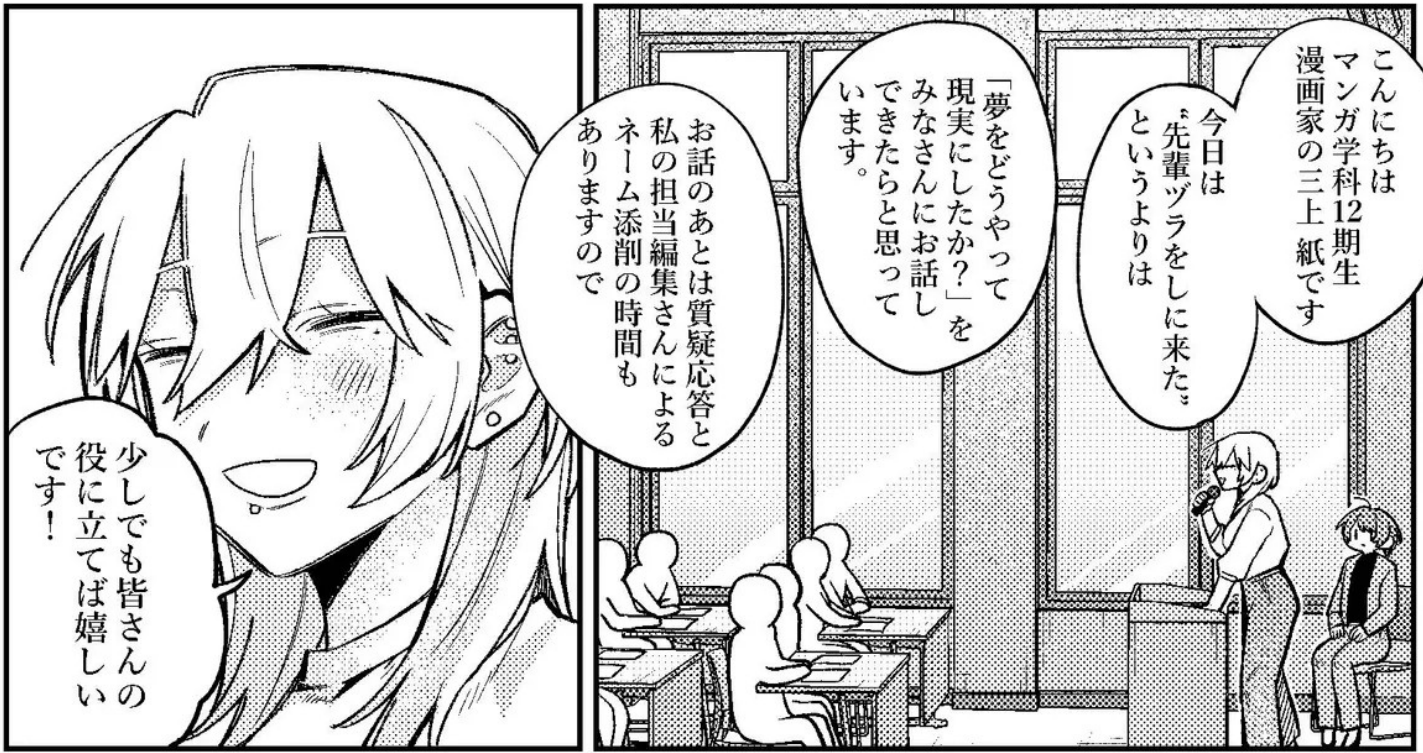
ちがっ…私はただ
三上先生の
進捗状況を
見てたんですよ!

大丈夫ですよ
いつも間に合ってる
じゃないですか

そうです
けど…!!

すみません
そろそろ
お願いします

仲良しな



それから…









私!?
なんか
したっけ!?

しゅん

立ち直れたん
ですけどね!

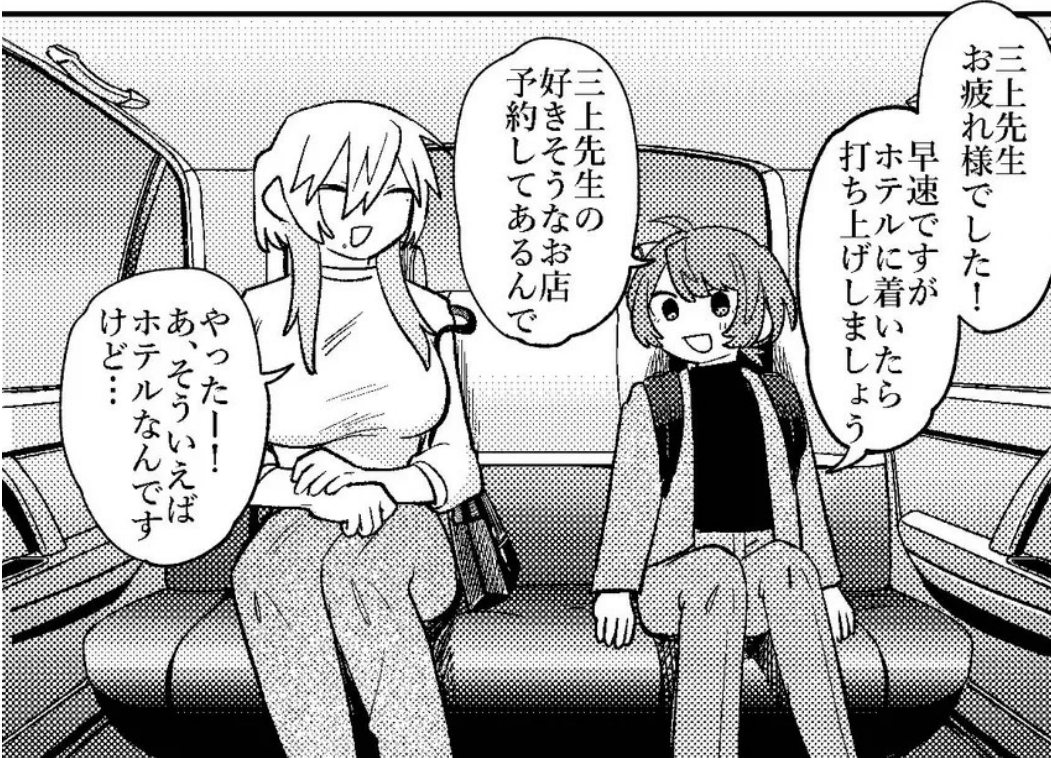
…まあ
そこにいる私の
有能編集さん
のおかげで

—てことで
次はそんな
編集さんが

皆さんのネームを
添削してくれる
そうですよ

えっ…あっ…
よろしく
お願いします!

どういうこと!?
続き聞かせてよ
〜〜!〜〜!



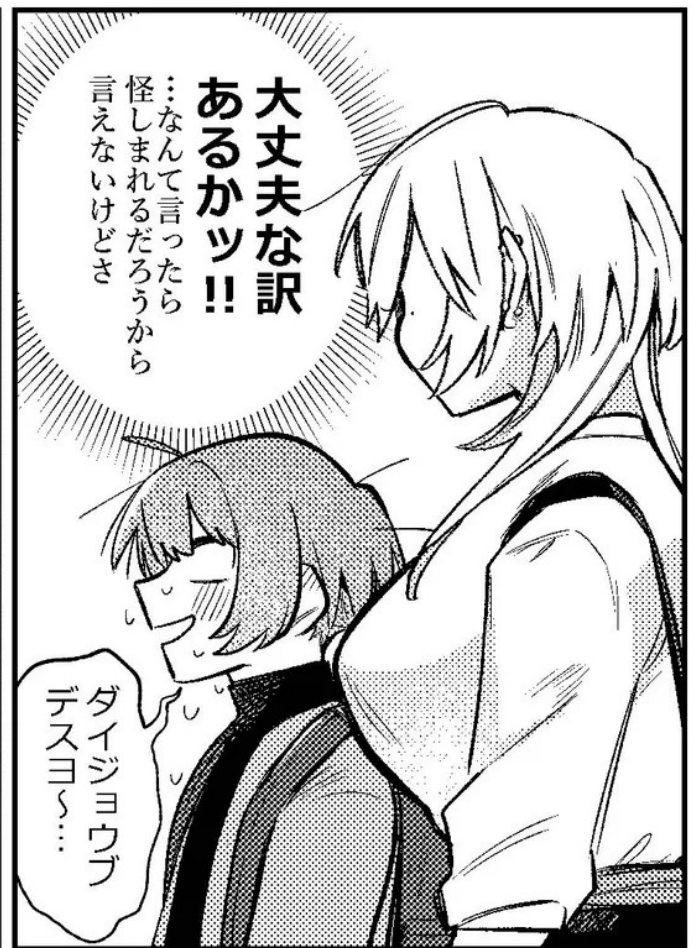
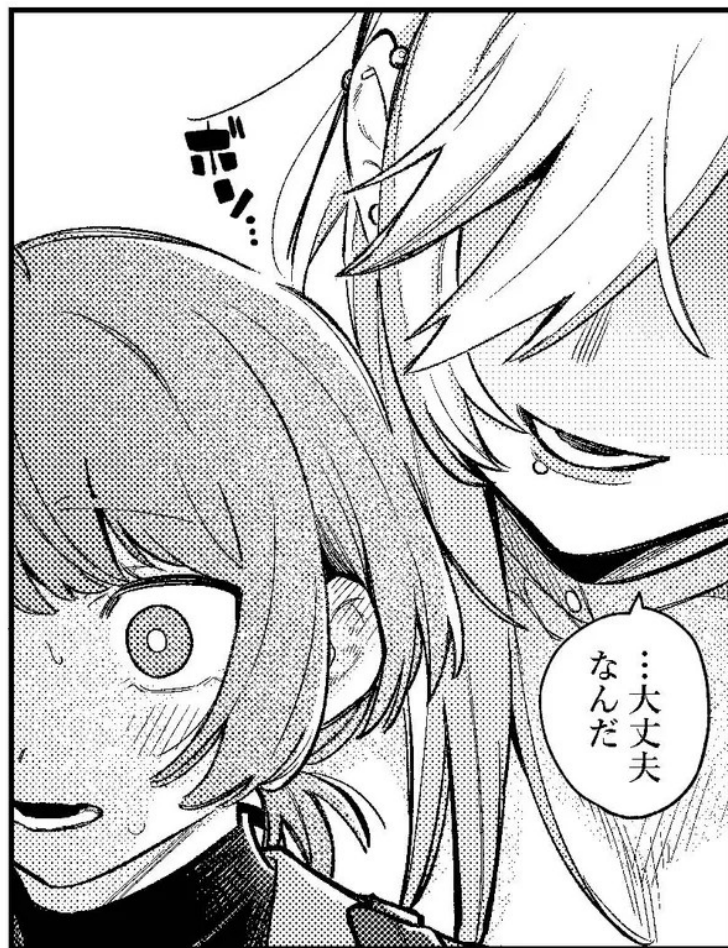
やったー!
あ、そういえば
ホテルなんです
けど…

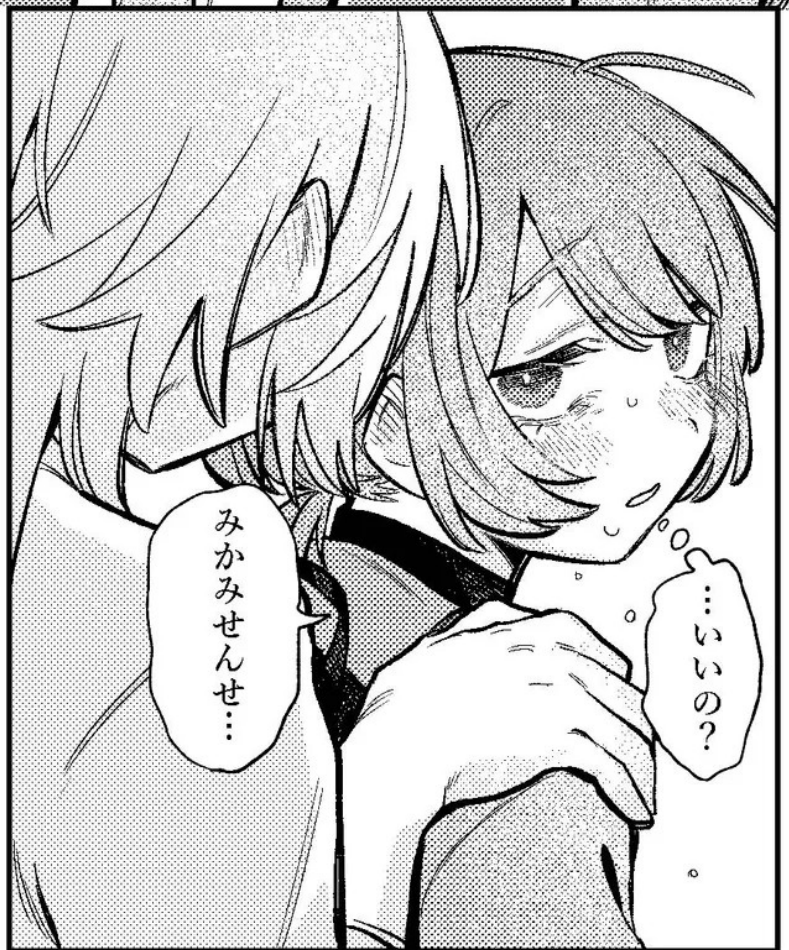
三上先生の
好きそうなお店
予約してあるんで

三上先生
お疲れ様でした!
早速ですが
ホテルに着いたら
打ち上げしましょう

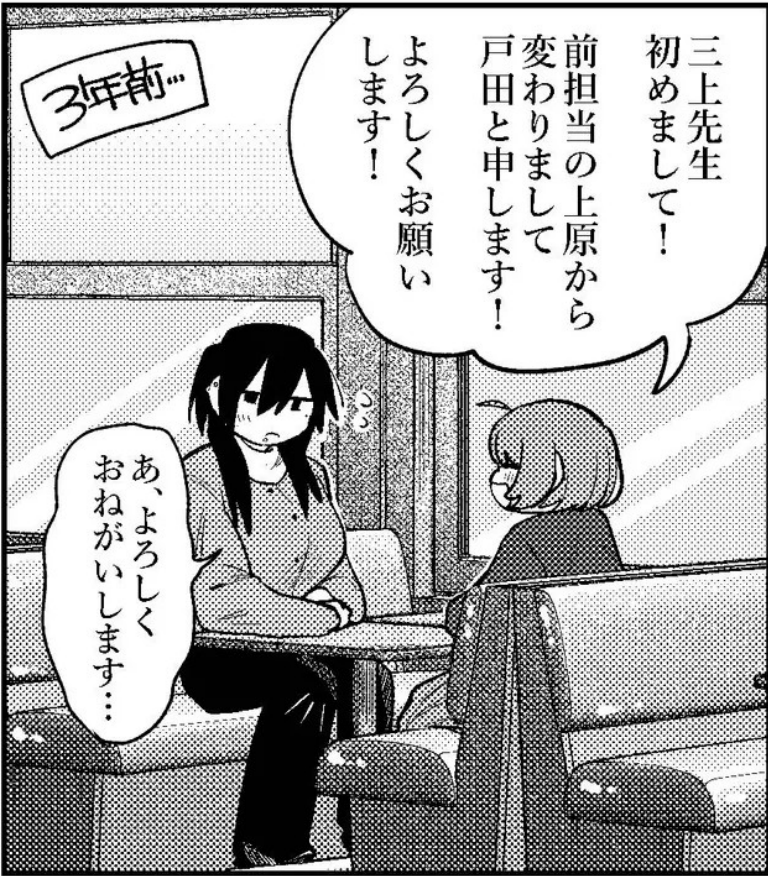


本日は
ありがとうございました
ごきげんよう
まじまじと
お楽しみます













私は先生の作品が好きです。

打ち切りなんて関係なく

もっと先生の作品が読みたいし可能性を感じました

そしてこの気持ちをとくさんの人に届けたくて

三上先生の担当に志願したんです



三上先生

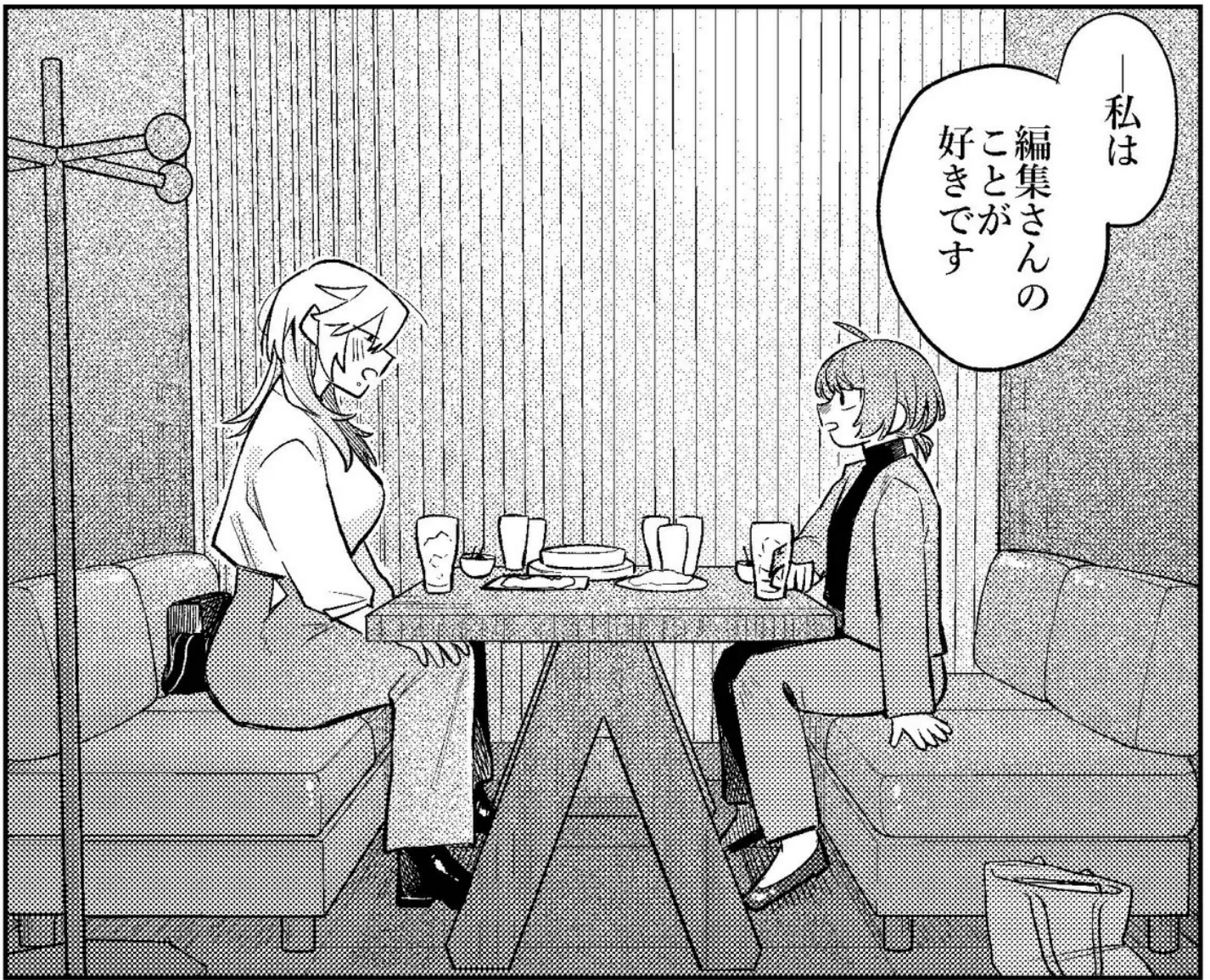


私は先生を幸せにしたいんです

だから次は私と一緒に漫画を作ってください！







私は

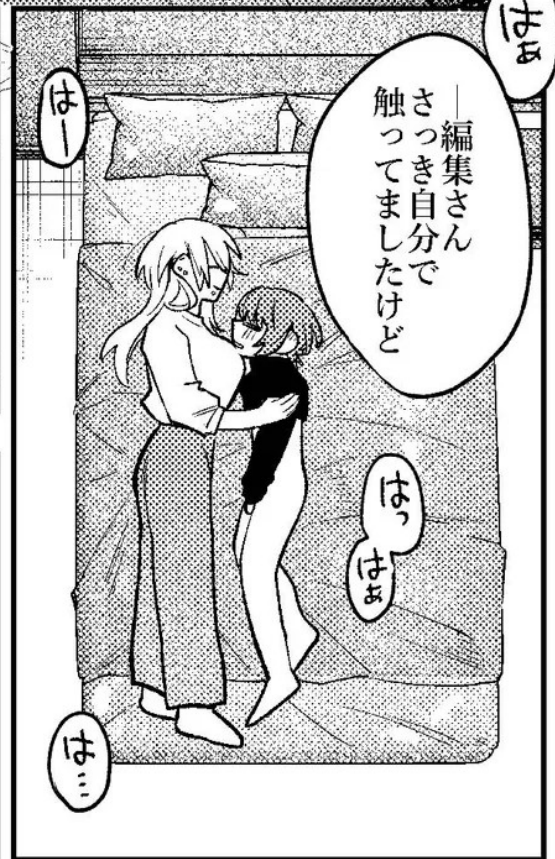
編集さんの
ことが
好きです

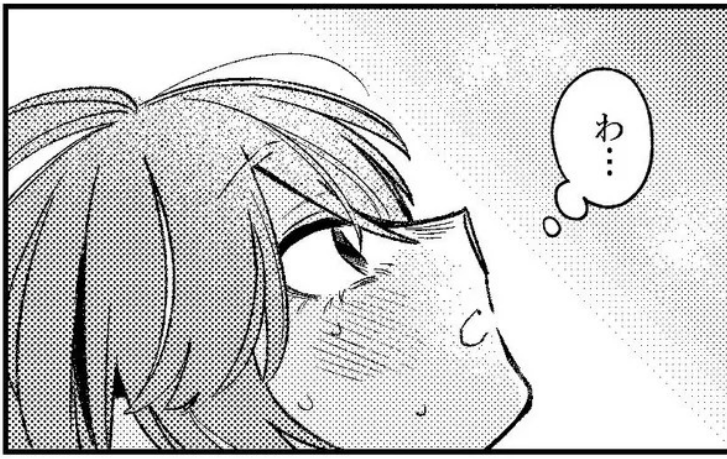


いつもは
ふざけてばかり
いますが

ちやんと
本気なん
です

…わかって
ますよね
私の気持ち







すみません

ヒンニ

43

43

これなら
すぐ入っちゃい
そうだな...



えいっ...



43

!

ホッ



三上先生も
すごい
濡れてますね



ずっと...
思っていました...!

43

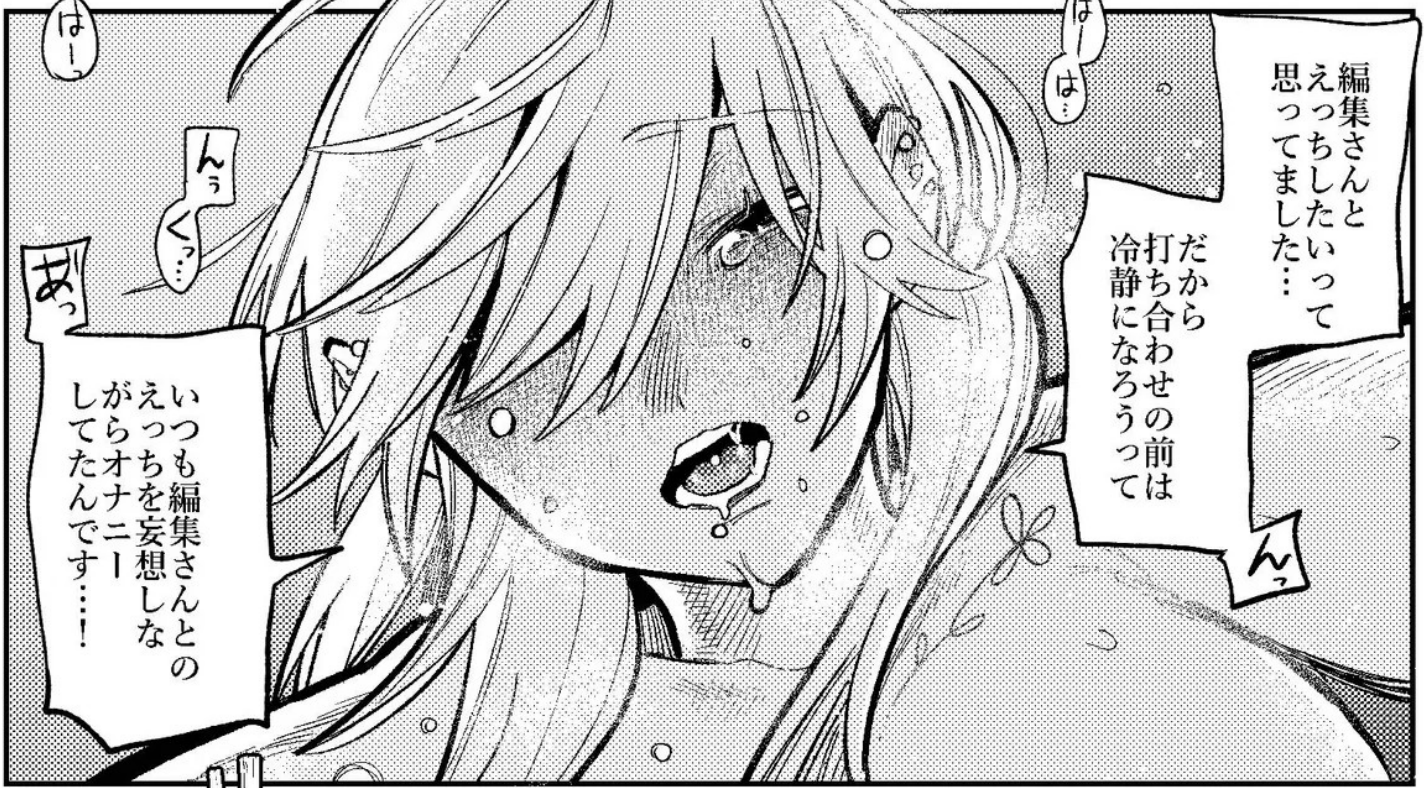
これ...これが
欲しかったん
です...!



ひゅっほ...?
(ずっと...?)

は...

は
はま



編集さんと
えっちしたいって
思っていました...

だから
打ち合わせの前は
冷静になろうって

いつも編集さんとの
えっちを妄想しな
がらオナニー
してたんです...!



でも...
そう言われたら
頑張りたく
なっちゃうな...



はま
はま
はま

エロすぎる
でしょ...

は...



編集さんの指で激しい気持ちです

すみません...

弱く... 膣内か...



可愛い...



好きな人のこんな姿見てたら

私も気持ちよくなりたくなっちゃう...

たんと

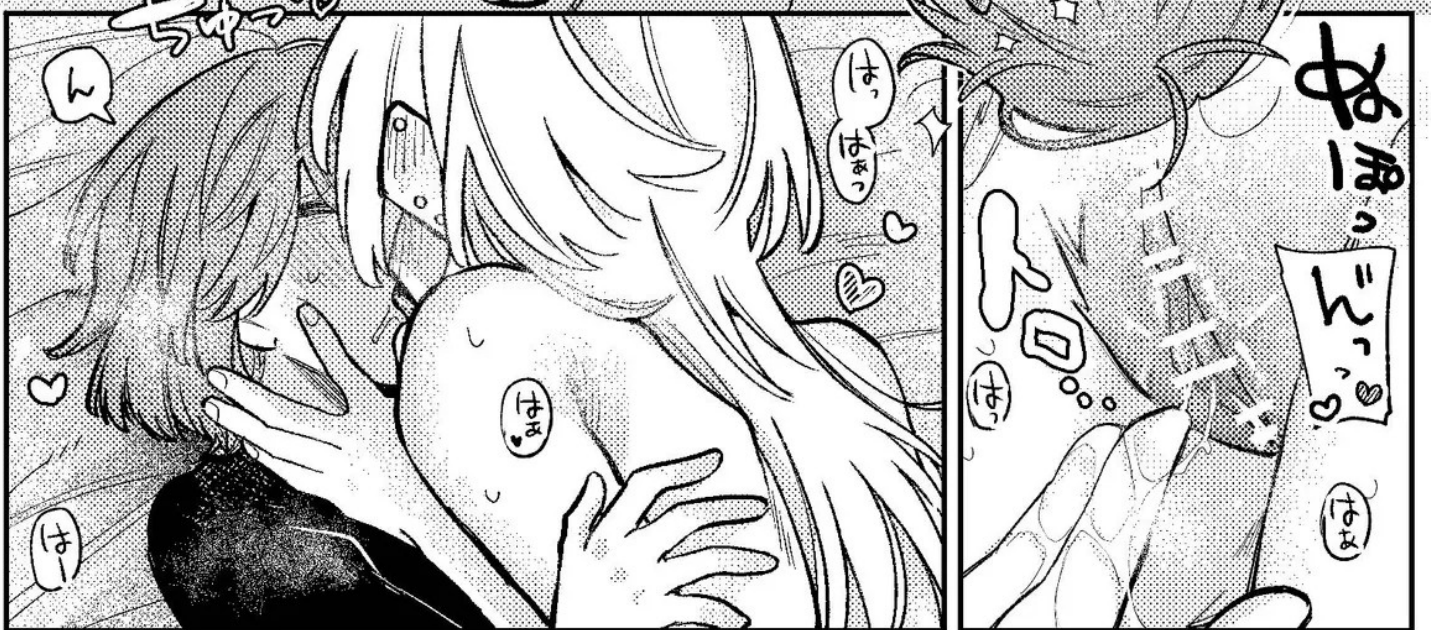
たんたん

あん

!

あ

あ





私は付き合いたいと思ってるんですが編集ですし...

ん...うん...



はい？

私たちってその...

付き合うってことで...いいんでしょうか？



汗かいたねー

そうですね...

あの



彼女にしてくれないんですか？

？



お

お願い
します！

はい

とりあえず
一緒にお風呂
入りますか

入ります！

—これにて
私は三上先生の
編集兼、彼女に
なりましたとさ

おしまい